

●会場で署名活動を行います。ご協力をお願いします。

第8回

リサイクル

新品いっぱい バザー

4月12日(土) 午前10時

物品提供
お願いします

烏山区民センター前広場

(雨天の場合は3階会議室とセンター前広場テント内で行います)

1) 物品受付日時と場所

- ・3月21日(金・祝) 午後1時～3時 烏山区民センター 集会室
 - ・3月27日(木) 午後1時～3時 烏山区民センター 集会室
 - ・4月 4日(金) 午後1時～3時 烏山区民センター 集会室
 - ・4月 9日(水) 午前10時～12時 烏山総合支所 第1会議室
- ※駐車場は烏山総合支所にあります(車高・車幅等制限あり)が、烏山区民センターにはありません。

●お問い合わせ：03 (3326) 1202

私たちは年2回の抗議デモと学習会、毎月の協議会ニュースの発行、毎日のオウム施設の監視活動などを、皆様からの募金で行っています。

このような活動を続けるために、リサイクルバザーの売上げも活動資金として住民協議会を支えています。

今年もバザーの売上げで、住民協議会の活動が続けられますよう、ご協力をよろしくお願い致します。

2) 受付物品

- ・日用品(石けん、タオル、シーツ、陶器類、乾物類など)
- ・衣料品(子供服、婦人服、紳士服など新品、あるいはクリーニング済みのもの)
- ・雑貨(アクセサリ、玩具、ハンドバッグ、靴、時計など)

※物品によってはお受け出来ないものもあります。
※陶器類・靴は新品に限ります。ご了承ください。

烏山地域
オウム真理教対策
住民協議会

連載 オウム真理教と闘い続ける ④

前住民協議会会長 海老沢一良氏に聞く

海老沢氏は初代住民協議会会長の倉本氏の後任として、会長を引き受けていただいた。身体の調子があまり芳しくない状態で、会議や集会への出席などもご苦労があったようだ。年齢を聞くと89歳と言うが、その姿からは年齢を感じさせない。会長就任当初、法務省・総務省への団体規制法・観察処分を要請行動へも率先して参加し、期限の延長を総務大臣に直接訴えた。オウム真理教に対しては「カルト信者は思いこみが激しく、自分の思いや考えばかりが先行し、話がなかなかみ合わない」「ちゃんと話し合えるといいのだが」と、歯がゆい思いを聞かせてもらった。青春時代は戦時中で、兵站として南方の島に赴任し終戦を迎える。昭和21年にトラック島から帰還し、

22年には現在地でソロバンを教える「しらゆり早算研究塾」を開塾。66年間経過した現在でも塾を経営しながら学校などにも出向き、小学生にソロバンを教えている。筆者も昭和29年頃お世話になっていることを話すと、当時を懐かしみ戦時中の体験から、戦後間もない頃の話に発展し、話が止まらなくなった。「デモや学習会に若い方々が参加してくれるのは本当にありがたい、これからは若い方に活動が広がっていくといいね」と、これからの住民協議会の活動継続にも熱心に語っていただいた。高齢とは思えない確かな記憶力で、自身の経験や生き方などを話してもらい、有意義な時間を過ごすことが出来た。

第28回 抗議デモ・学習会 5月10日(土)

- 抗議デモ
午後1:30集合 1:50出発 烏山区民センター前広場
- 学習会
午後2:30開会 烏山区民センターホール

講演 「オウム事件とロシア」

講師：瀧澤 一郎 氏 (元防衛大学校教授)



プロフィール

昭和14年東京生まれ。早稲田大学理工学部、東京外国語大学卒業 同大学院、コロンビア大学、大学院国際関係学部、同ロシア研究所修了。

東京オリンピック組織委員会公式露語通訳、コロンビア大学助手、防衛大学校教授などを歴任。

著書に「ソビエト大横断一万四千キロ」、「プリンス近衛殺人事件」、訳書に「KGB 秘密文書は語る」「ソ連と中国一友好と敵対の関係史」「パズル・パズル」他多数。

オウム真理教元幹部平田信被告の裁判員裁判

オウム真理教元幹部平田信の裁判員裁判が、1日17日から東京地裁で開始された。傍聴券を求める人々の行列が781人にもなった。法廷内は厳重に警備され、傍聴席の前には高さ1.8メートルの防弾性のアクリル板が設置され、証言台の周囲には、ほぼ同じ高さの遮蔽板を立てて、傍聴席から姿が見えないようにとの配慮がなされた。死刑囚の証人尋問は過去に数例あるが、ほとんどが拘置所に裁判官らが出向く形で行われている。今回、法務・検察は「死刑囚の心情が乱れる恐れがある」と法廷での尋問に反対したが、地裁は「法廷でのやり取りを直接見聞きして判断する」という裁判員裁判の理念を尊重し、実施を決めた。元教団幹部の中川智正死刑囚、小池（旧姓林）泰男死刑囚、井上嘉浩死刑囚らが順次証人に立った。1995年から2011年まで17年間も逃亡を続けた平田被告

は、すべてを明らかにしてお詫びをしたいと、冒頭では述べているが、地下鉄サリン事件、松本サリン事件、坂本弁護士一家殺害事件、仮谷清志さん拉致事件など、真相の解明にはほど遠く、証人と平田被告の記憶の曖昧さや、くい違いが多々ある。特に被害者参加制度を利用して審理に参加している、仮谷さんの長男仮谷実さんにとっては、父親が何のためにどんな形で殺害されたのか、今まで解らなかつた事を知りたいとの思いが大きかっただけに、裁判の中でのやりとりによくやしい思いをしているだろう。地下鉄サリン事件で亡くなった人々、未だに後遺症で苦しんでいる人々にとっても、事件を風化させないと同時に、すべての事件の真相を明らかにしてほしいと願っているに違いない。たとえ死刑が確定しても、人を殺害したという事実は、どんな償いも出来るものではないし、許されるものではない。

カルト宗教を見破り騙されない方法

騙す人も悪いが騙される人も悪いなどと無責任に言う人がいますが、この世の中、カルト宗教から始まり、詐欺や偽の投資話、横領や悪徳商法など、騙しの手口は枚挙にいとまがありません。この紙面では、カルト宗教に騙されないようにするにはどうしたらよいかについて「勧誘事例・カルト団体の見分け方」を、弁護士の久保内浩嗣氏の資料から抜粋して紹介します。

【勧誘事例について】抜粋

1、大学生Bさん

駅前で道を聞かれて、時間があつたので近くまで案内した。優しいね、助かったと言ってもらい、案内してよかったと思った。ぜひ友達になろうとアドレスを交換し、その後数回食事に行く。その人の所属するスポーツサークルに顔を出すようになったが、それが宗教団体だったということは後で分つた。

2、大学生Cくん

大学の友人に、おもしろいサークルがあると誘われた。先輩たちが就職活動のアドバイスもしてくれるということで、ちょうど就職に悩んでいたところだったので、参加してみた。とても親切でいい人たちばかりで驚いた。とても魅力的に感じた。

3、大学生Dさん

大学の友人にサークルに誘われて、聖書の話に興味本位で聞き始めた。聞き始めて3週間で就職が決まり、これは話を聞き始めたおかげだと思ってしまう、のめりこんでしまった。宗教団体と後で知らされたときはショックだったが、とてもいい人たちだったので裏切られた、嘘をつかれたと非難する思いにはなれなかった。

4、女子学生Hさん

法学部3年生で、政治学の研究者を志し図書館で勉強中、同じ大学の学生である女性から声を掛けられた。その後、様々

なスポーツイベント、クリスマスイベントなどに誘われていくうちに、三十講論の教え込みを受け、同じ大学の同じ学部に通う妹と、同じ大学に進学を希望していた高校3年生の妹を勧誘。

5、社会人女性Rさん

道で運勢鑑定士だという女性に「転換期ですね」と声をかけられた。手相や姓名判断を見てもらう中で「先祖の因縁が邪魔している。因縁を解いて運勢を変えていけるのは転換期の今だけ。あなたは全先祖の願いを背負ってここに来た。時は今しかない」などと言われた。印鑑で運勢が良くなると言われ、購入を勧められた。悩んだが、16万円の印鑑3本セットを購入した。その後「愛の人格を高める自己啓発のようなカルチャースクールがある」と言われ、ビデオセンターに通うようになった。

事例集ではカルト宗教の誘いが、日常生活の何気ない行為がきっかけなので、誘われる方もごく自然に対応してしまう。カルト宗教はまことに巧妙である。カルト宗教の信者は「いい人」ばかりで、どんな悩みや心配事も優しく聞いてくれるのでつい騙されてしまう。最後にカルト宗教の見分け方を紹介します。

【注意すべき団体の見分け方】抜粋

- 組織名や団体名、その団体の正体を隠す傾向がある。
- 組織からの情報は、疑ってはならないと教える。
- 外部からの情報を遮断する傾向が強い。
- 組織や教義は絶対であり、自分で考え判断することは、誤りであると指導する。
- 白黒や善悪を常に分けたがる。
- 組織や教祖が絶対の善で正しく、外部は悪であると主張し、迫害意識を強調し、団結心をもたせる。個人の生活が制限され、活動や寄付に参加することを強要する。
- 組織からの脱会について極度の恐怖心を与え、脱会の自由がなく脱会した人との情報交換や接触を禁じる。
- 飲酒、喫煙するメンバーがいなく、恋愛の話題もない。

住民協議会活動報告

2月11日(火・祝) からすやま新年子どもまつりで募金活動
2月17日(月) 住民協議会
2月24日(月) 住民協議会ニュース133号初校正

3月1日(土) 若返り桃まつりで募金活動
3月3日(月) 住民協議会ニュース133号再校正
3月4日(火) 事務局会議
3月10日(月) 住民協議会ニュース133号発行

協議会ホームページアドレス <http://www.kyogikai.jp>

この協議会ニュースは、皆様の募金により発行されています。